



医療法人金澤会
青磁野リハビリテーション病院
看護部広報紙

- 外来・健診センター
- 回復期リハビリテーション病棟（北病棟）
- 障害者病棟・亜急性期病床（東第1病棟）
- 一般病棟（東第2病棟）
- 介護療養病棟（南第1病棟）
- 医療療養病棟（南第2病棟）

連載 知ってほしい！！ みんなの職場 一各部署の紹介②一

看護部職員が所属している機能別に分けられた部署の特徴を前回に続き紹介します。

第2回目は、北病棟（回復期リハビリテーション病棟）・東第1病棟（障害者施設等一般病棟・亜急性期病床）です。

北病棟（回復期リハビリテーション病棟）



回復期リハビリ病棟としての機能を持ち、ベッド数は60床と一番大きな病棟です。脳卒中や大腿骨頸部骨折等を発症後、限られた期間内に集中的なリハビリを行い、在宅復帰を目指しますが、それがゴールではありません。その方が退院後に目指す生活を実現させることがゴールと考えています。

チームメンバーが絶えず情報交換し、目標を共有し、患者様が笑顔で退院されることに喜びを感じながらがんばっています。

東第1病棟（障害者施設等一般病棟・亜急性期病床）

重度の障害を有する患者さんが過ごされている「障害者施設等一般病棟」と在宅復帰を目指す患者さんが過ごされている「亜急性期病床」が一緒になっている病棟です。患者さんの状態は対照的ですが、スタッフ27名合併症予防と早期回復に向けて取り組んでいます。スタッフも明るく（時々声が大きかったりしますが…）元気に！をモットーに、毎日はずらつと仕事をしています。長期入院になる患者さんが多いのですが、連携を取りながら安心して入院生活が送れるような環境を提供していきたいと思っています。



看護週間「看護の心をみんなの心に」

毎年5月12日は、ナチンゲールの生誕にちなみ「看護の日」に制定されています。「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに、地域の皆様に少しでも健康について考えていただく機会になるよう、看護週間に合わせて健康チェックを行いました。今年は120名利用があり、血圧の高値・血糖異常の方には近医の受診をすすめました。自己の健康に対する再認識のきっかけになるよう、来年以降もイベントの継続をしていきます。



▲骨密度はどのくらいかな？

看護師からのお知らせ

フットケア 始めました



今年度より多職種で構成された **糖尿病チーム** を発足し、患者さんの糖尿病予防や医療の質を上げるために取り組んでいます。まずは外来にてフットケアを開始しました。ケアを行うことで、神経症状の早期発見と予防に繋がります。また患者指導も並行しながら、在宅でも衛生的に保てることを目標としています。熊本市は**慢性腎不全（CKD）が全国1位**で、CKDによる人工透析患者の6割が糖尿病による合併症が原因です。CKD患者を減少させるためにも、幅広く活動していきます。

外国の方も頑張ってます！

～タイ国コンケン病院より研修受け入れ～

6月11日・12日「タイ国の介護保険の制度化に向けた研修」として国立病院機構熊本医療センターより3名来院、様々なことに興味を持たれとても熱心でした。通訳を介し、片言の英語と身振り手振りを



混ぜながらの対応でしたが、小さな国際交流の一端を担っていることを実感しました。

お互いの国が豊かに安心して暮らせる社会に成るよう願います。

気持ちを一つにして

第15回 看護部総会開催

6月27日看護部総会が開かれ、お互いの気持ちが一つになり目標に向かって仕事を進めることが出来るよう、各会議・委員会の活動報告や計画を発表しました。

看護部長より現在の社会情勢の中で私たち専門職がすべき重点取り組みとして

①安全な医療を提供すること

②専門能力向上

③連携とチーム医療推進

④感謝の言葉の飛び交う職場作りが提言されました。また看護協会、看護連盟総会の報告から全国的な新たな取り組みを知る機会にもなっています。一人ひとりが目標を持ち1年間頑張っていきたいと思えます。



フラダンス
グクレシ演奏!

7月20日南棟3階デイルームにて開催。入院中なかなか外出する機会も少ない中で、短い時間ではありましたが、真剣な眼差しと、時折弾ける笑顔が印象的でした。

これからも楽しんでいただけるレクリエーションを実施していけたらと思っています。

ボランティアの方達は「プルメリア・フラ渡鹿教室」の皆さんです。



行事予定

平成25年10月

- 介護士研修会(3日)
- 看護部勉強会(10日)
「医療安全 5Rの徹底」
- 明日の看護を考える会(18日)
「看護の取り組み発表」
- 健康・介護相談(毎月1回開催)
- ふくし相談会(毎月1回開催)
- 糖尿病予防・改善教室
(毎月1回開催)
- 療養病棟お誕生日会(毎月1回)

11月

- 看護部勉強会(14日)
「認知症の基礎知識」
- 秋季ご家族との集い(16日)

12月

- 看護・介護研究発表大会

平成26年1月

- 入院患者初詣
- 看護部勉強会(9日)
「医療機器の取り扱い」
- 介護士研修後の報告及び
取り組み発表

2月

- 介護士研修会(6日)
- 施設合同連携会
- 看護部勉強会
「脳卒中認定看護師による講義」

3月

- 看護部勉強会(13日)
「トピックス」
- 入院患者のお花見

より良い訓練方法を探す

運動器専門治療チーム

個人のスキルアップと多職種との連携を目的に毎月開催しています。患者さん個人に合わせ病棟でもリハビリが出来るよう、看護介護を中心にリハビリスタッフと協力しているところです。金澤院長の講義や、各病棟での取り組みを発表し、それに対しグループワークを行い、患者さんそれぞれに合った、より良い訓練方法を探しています。



▲画像を見ながら学ぶ ▲金澤院長の講義

普段の休日何をしていますか？ ランキング

選択肢より3つまで回答可としアンケート調査を実施！結果は

1位	家事	43.4%
2位	ショッピング	33.8%
3位	テレビを見る	27.2%
(配布数 167 名、回収率 81.4%)		

以下 ひたすら寝る、子供と遊ぶ、ドライブ、DVD を見る などが続きました。休日を楽しむというより、家の掃除・洗濯や買い物などに多くの時間を割く傾向にあるようです。

できるだけ気分転換や身体を休める時間に当てて欲しいですね。

スポーツの秋ですね

スポーツ中に起こる怪我の内、最も多いのが足首の捻挫。

大きすぎるシューズは踵が安定しないので着地時に靴の中で足が滑ってしまい、足首に過度のストレスをかけて捻挫を起こしてしまいます。

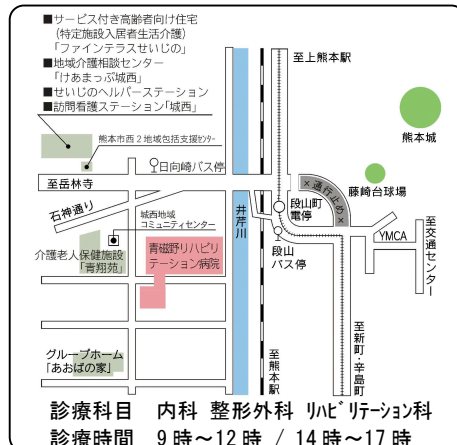
捻挫は、足首をかばっているうちに体のバランスを崩し、負担をかけます。体のバランスをよくするには、足元を安定させることがポイントです。

足底板(インソール)は安定したバランスを取り戻す手助けをしてくれます。

看護師・准看護師募集

平成26年4月採用及び
中途採用随時受付中

当院総務課へ
ご連絡ください



発行 医療法人金澤会
青磁野リハビリテーション病院
看護部広報委員会

〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15
TEL 096-354-1731 FAX 096-354-1736
ホームページ <http://www.seijino.or.jp/>